

和 而 不 同

週間天気予報の帯に、ようやくオレンジのマークが並び始めた。間延びした今年の梅雨は、まるで思い通りには進まない昨今の世情のようだ。道路もレジも空いている方が良い。しかし「順調」への無意識な依存は、時に私の「枷^{かせ}」ともなる

▼先日、何事もなく稼働していたエアコンに突如不具合が生じた。異音だ。「ジ、ジ、ジー」、作動と同時に形容しがたい不快音が続く▼素人ではその原因は分からない。こんな時は往々にして苛立ちと責任の所在を「欠陥」の二文字に押し付けがちだ。そこに私自身は関与させない▼なぜ機械の故障に腹が立つかといえば、彼らはボタン一つで正確に人の意のままに動くべき存在として当たり前のように認知されているからである▼ゆえにそうでない場面に出くわした際、不意に「順調」の喪失感と獲得欲に苛まれる▼もちろん故障はプロの修理で直るかもしれない。だがこれはあくまでも一時的なものだ。機械に限らず同じようなやりとりは後からまたやってくる▼「人生は苦なり」。思い通りにしたいという願望への無自覚な囚われにより、一場面ごとに右往左往する心のありさまである▼自身の意に反する状況ほど肚^{はら}の坐り^{すわ}が試される

〔徳〕

エアコンの異音は、モーターが原因でした。修理業者さん曰く「機械も人間と同じで急にケガで走れなくなることもあります」とのこと。機械という名の“私の思い通り”に、いかに普段から執着しているかを伺う機会でした（若院）